

# RECURRENT NEWS



## 海外リカレント研修を実施

2023年9月11日から9月15日の5日間、海外リカレント研修として韓国でのフィールドワークを実施しました。参加者は、人生100時代の学びプログラム、甲南発 法務リカレントプログラム、ソーシャルビジネス・アントレプレナー育成プログラムから募集し、今回は最年少者65歳、最年長者79歳の6名の方が参加されました。韓国では、全学共通教育センター西川耕平教授の引率のもと、行政機関や企業等を訪問し、韓国社会について多面的に学びました。

本企画は、リカレント教育センター開設当初から企画を温めていたものですが、履修生の方からの熱烈なご要望もあり、未来サポーターズ募金を契機として実現することとなりました。ご寄付いただいた皆様のご芳志に心より御礼申し上げますとともに、実施の状況について本紙にて報告いたします。

リカレント教育センターでは、これからもさまざまな教育プログラム・講座の企画、実施を展開してまいりますので、ぜひ多くの皆様に本学のリカレント教育に参画いただき、今後とも当センターの活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。

### 所長挨拶

海外リカレント研修は初めての試みでしたが、参加者全員が無事に帰国され、なによりも有意義な研修となったことで成功といえそうです。

参加者の方の中には早くも来年の実施を期待する声が出ているとのことで、今回の研修にご参加頂いた皆様の意欲的な学びの姿勢の賜物といえるでしょうか。献身的にご協力頂いた教職員の方々にも心よりお礼申し上げます。

リカレント教育センター  
所長 梅本剛正

# 2023年度 海外リカレント研修

## 目的・概要

海外リカレント研修は、本学教員の引率のもと、本学のリカレント教育プログラムで学ばれている履修生が他国を訪問し、フィールドワーク等の活動を通して多面的に国際社会を学習することを目的とします。2023年度は、生涯学習をとりまく韓国社会の現状を学び、現地の学習者等と交流することを主な目的に、韓国の現地企業・教育機関等を訪問しました。

## 行程表

日程	内容
9/11 (月)	9:00 関西国際空港集合 11:00 関西国際空港 出発 13:00 金浦空港 (韓国) 到着  17:00~20:00 【研修①：日韓交流座談会】 <テーマ>韓国在住の日本人から見た日本社会観、韓国人観、韓国社会観等について <ゲスト>閔陽子氏 (漢陽大学校教授)、櫻井恵子氏 (韓国継承語教育研究会代表)
9/12 (火)	9:00~13:00 【研修②：歴史文化】 韓国伝統家屋保存地区散策、国立故宮博物館  14:00~16:30 【研修③：韓国における生涯教育】 <訪問先>ソウル50プラス財団 (中央キャンパス) ※写真A
9/13 (水)	10:00~11:00 【研修④：企業訪問・ラボラトリー見学】 <訪問先>Eurofin KCLT (水原市)  14:00~16:30 【研修⑤：韓国における高齢者政策】 <訪問先>高齢者人材開発院 (省庁附属公的機関)
9/14 (木)	10:00~11:30 【研修⑥：韓国における生涯教育】 <訪問先>ソウル市西大門区生涯学習融合・複合人材教育センター、西大門区人生ケア生涯学習館  12:45~16:00 【研修⑦：韓国における生涯教育】 <訪問先>ソウル市西大門区生涯学習融合・複合人材教育センター、西大門区人生ケア生涯学習館
9/15 (金)	10:20 宿泊先ロビー集合 (空港へ移動) 14:00 金浦空港 (韓国) 出発 15:40 関西国際空港 到着 16:10 関西国際空港にて解散



写真A

## 参加者レビュー 研修に参加して (成果等)

<人生100年時代の学びプログラム「ネクスト・キャリアをどう生きるか」コース履修生>

今回の海外研修の志望動機は、①海外での異文化体験による自己研鑽②韓国の現状を自分の目で見てみたい。ということです。社会人でこのような研修が初めてということをお聞きして、「できるときに何でもチャレンジ。」という気持ちも大きかったです。

シニアの社会学習機関、50歳代の人々の再就職支援の機関等で韓国の現状を聞かせてもらいました。①韓国では学生時代から猛烈な競争社会であること。②面会した人たちは、若く語学に長けた方が多いという印象に残りました。

翻って日本と日本人を考えると、語学とIT教育は若い人たちだけでなく全世代でまだまだ必要だと感じました。

私は参加者全員 (引率教授と引率事務局以外) と初対面でしたが、4泊5日の研修期間中、いろいろなお話をさせていただき、これも大変な成果だったと感じています。毎日海外研修のことを振り返りながら、少しずつ充実感が増しているように思う今日この頃です。



写真B

## <人生100年時代の学びプログラム「植物と生きるために、その“力”を学ぶ！」コース履修生>

**韓**国渡航は初めてで理解が進みましたが、さらに深く知りたいことも増えました。一個人では訪問できないところが多く貴重な経験になりました。現地で韓国人と国際結婚した女性のお話がありましたが、韓国では子供の教育は早くから選別して将来の職業まで振り分けていく形で、家庭の教育熱が日本以上に厳しいと感じました。一方大人への生涯教育も盛んにおこなわれていました。高齢者だけではなく若年者や障害者も含む職業訓練を組み込み、国民が取り残されないように取り組んでいることが特徴的でした。

電子機器認証会社Eurofinsを訪問しました。説明責任者の方は40歳代でしたがあと数年で退職・転職するらしく、日本のように65歳

まで雇用が保証されていることもありません。このことが国や市の生涯教育への取り組みにつながっていると思いました。

韓国伝統家屋保存地区である北村の散策もいい経験になりました。元大統領府青瓦台を西に臨む高台に朝鮮王国の官僚居住地区が今は密集した韓国古民家地区として観光名所でソウルでは高級住宅街とのこと。朝鮮王国の官僚といえ、日本では公家に相当すると思いますが、日本の公家は天皇と共に東京へ引越し京都御所の周辺には屋敷はほとんど見当たりません。

日本との違いを認識できましたが共通することも多く、考えることが多かった研修でした。

## <人生100年時代の学びプログラム「大人の自己探求」コース履修生>

**モ**ダンな高層ビルが建ち並ぶ中、人ひとりやっと通れる路地に古い小さな食堂が残っている。朝鮮王朝の古い巨大な門が、車の往来の激しい大通りに取り残されたように面していても、堂々とそこに存在している。ソウルの街は、そんな新旧の入り混じった活気を感じさせる街です。それは、今回の私の韓国の印象とも重なるものでした。日本と韓国の関係は、日本の植民地政策などのこともあり、ギクシャクした関係が長く続き、私の心のどこかで、日本人としてずっと引っかかっていた問題でした。韓国は、今経済的に低迷していた時代を抜け、急速に発展してきています。最も近い隣国の現状を知りたいと、この研修に参加しました。

韓国で訪れたのは、高齢者の自立支援・福祉を行っている「老人人材開発院」、40代、50代の中老年の総合支援をする「50プラス財団」、全世代を対象として社会教育、生涯教育をしている「ソウル市民大学」などです。いずれの施設についても施設内の設備

の利用や講座の受講は無料で広く開放されています。どの世代にも支援がいきわたるように配慮され、自ら自立し、より質の高い生活が送れることを目指していました。

韓国の社会に目を向けると、十分な教育が受けられなかった80代の世代は、識字率が50%だそうです。その数字に少し驚きました。年金制度も十分ではないので、老人の貧困率はとても高く、その上少子高齢化も差し迫っており、労働人口はさらに少なくなっています。また、高学歴の若い層との教育格差、所得格差など、多くの問題を抱えるということを知りました。行き届いたように見える制度の背景には、「人を育てていかなくは」という非常に強い危機感があるように思われます。

五日間の訪問だけで韓国を知ったことにはとてもなりませんが、まず、この目で韓国という国を見ることができたのは、韓国理解の一步になりました。

## <人生100年時代の学びプログラム「ネクスト・キャリアをどう生きるか」コース履修生>

**近**くて遠い異文化の韓国、高度成長を支えた高齢者はどうされているのか。今何をしているのか、地域で、一族の中での立場など理解したいと思いました。私は日本で生まれ育った地域で65歳まで仕事に就き、70歳ですべての地域の役員活動を終えました。高齢者として家族と老後を過ごすつもりでしたが何かしたい、新しい知識を得たいとリカレント履修を選択しました。その中でこの研修に参加しました。今から何ができるのか、知識を得たい。止まる事なく活動し、今一度地域の高齢者政策をより理解し深める為の研修でした。

訪問した高齢者施設、生涯学習センターでの設備、担当者との質疑応答は私の知識以上のレベルで恵まれたものでした。しかし、対象とする高齢者は3種類に分類される国です。40歳で退職しスキルを生かして高齢になっても働く

世代、僅かな退職金でスキルを求める働ける世代、人口の40%を占める高齢者は高度成長を支え、僅かな年金と蓄えだけで子供にすぎる高齢者に分類されます。それぞれの高齢者層に向けた政策は各事業を立ち上げた行政、財団法人、宗教団体が万人に向けて門戸を開くことが弱い高齢者を守るものとなると確信しました。高齢者を支える立派な施設が行政から地区、地域に浸透し豊かな社会、豊かな生活を老後も送れるまでになればこの国に自分を置くことが出来ます。

私の暮らす地域でのこれからどう生きるか、何ができるか、地区の各種団体での活動実績もあり、地域包括支援センターとの共同も長いので何か起こしたい考える研修となりました。

## <人生100年時代の学びプログラム「大人の自己探求」コース履修生>

**昨**年「人生100年時代の学びプログラム」（自己探求コース）で学び自分自身が求めるキーワードが見えて来た中、今回の研修に参加したのは、海外という全く違った環境に身をおく事により更なる自分自身の発見（自己探求）に繋げていければと思ったからです。

まず、韓国人男性との結婚をされた関教授、桜井教授のお話で印象に残ったのは、子供のころから始まる韓国の競争社会と厳しい教育環境の話でした。また、日本に比べ極端に早い定年制(49歳)は年金支給年齢(65歳)までの間の生活不安を招いており、年金制度と雇用対策等の社会制度が十分に整っていない様に感じました。これらの点がその後の訪問先や公的支援策への理解に繋がりました。

「ソウル50プラス」では、正に定年後から65歳までを対象に生きがい教育と共に雇用サービスを提供しています。特に、デジタル教育に大変力を入れており、その理由としてデジタル技術の進化が早く、雇用マッチングサービス(再就職)には欠かせないスキルであるとの事でした。高齢者人材開発院では、主に65歳以上で低所得者層を重点に労働型、非労働型(ボランティア)の社会参加を促進しているとの事でした。韓国では65歳以上の45%が貧困層で、明日の食事

にも困窮する層と経済的に余裕のある層と2分されているとの事でした。この点についても韓国の競争社会の厳しさを実感する事が出来ました。ソウル市民大学ではITリテラシー教育に力を入れている一方、南北戦争の影響で韓国の女性の80歳以上では67.7%が非識字者であるとの点も教育の背景にあるとの説明がありました。戦争の悲惨さと現実を認識させられました。西大門生涯学習館では、高齢者だけでなく障がい者や子供達にも生涯教育の場を提供していました。驚いたのは、地区組織でありながら画像編集や3Dプリンター、ドローンと言った最新のIT技術を学ぶ場が無料で提供されている事です。韓国では、デジタル化の普及と共にそれを支える教育の場が小学生から高齢者まで、しかも地域単位で整っていました。こういった点については我々が学ぶ点が大いにあると思いました。

最後に、今回の研修に参加してみて、他国の文化や制度、国民性といったものへの認識度は短期間でも現地に身を置く事で理解度が大きく増す事とメンバー夫々の視点の違いは大きな刺激になり自分自身の振り返り繋がったと思います。そして、皆さん個々の優しさが良く分かり私にとって、大変有意義な研修旅行でした。

## <人生100年時代の学びプログラム「大人の自己探求」コース履修生>

**海**外リカレント研修は甲南大学のリカレント教育にとって初めての取り組みです。この記念すべき第1回目の事業に参加できたことを誇らしく思います。このような海外研修は全国の他の大学では未だ実施されていないのではないでしょうか。これを実施した甲南大学関係者の斬新的な行動力、熱意、今回の視察に多大のご尽力下さった駐神戸大韓民国総領事館神戸韓国教育院関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。そして参加した私を含め6名の参加者の勇気を讃えます。その中で唯一の女性参加者がいらっしゃいます。日本で韓国料理を食べたことないという女性が一人参加し、各機関を訪問したことは素晴らしく大きな意義があると思います。未知の新しい世界に飛び込みTRYする精神は甲南学園創始者 平生 鈞三郎イズムからも大切にすべきです。

しかし、私の研修目的であった“新しい自己発見”、“新たな目標探し”は今回は叶いませんでした。その要因は私のように暇を持て余している老人が韓国では少ないように感じたことと、年金制度も日本より遅れていると感じたからです。



## 2023年度担当教員からのメッセージ

まず何より、各方面の方に、深く感謝を申し上げます。混乱を含む実験的な企画に対して、寛容で、実質的な支援がなければ、何一つ実現しませんでした。予想以上の内容となった訪問体験は、ある意味「運が良かった」とすら言えると思います。当然ながら、単発イベントから継続的な魅力ある研修とするために、さらに多くの課題に取り組む必要があると感じています。参加者の皆様、また支援を頂いた皆様に、感謝を申し上げます。

全学共通教育センター 教授 西川 耕平

## 甲南大学リカレント教育センター

神戸市東灘区岡本 8-9-1

recurrent@adm.konan-u.ac.jp

(078) 435-2598 (直通)

リカレント教育センターは、社会人等を対象に多様な年齢層の多様なニーズに対応した「学び直し」のためのリカレント教育プログラムや、地域社会と連携したリカレント教育プログラムを企画・運営しています。このほか、大学の研究・教育の成果を一般に開放する公開講座の企画・運営も行っています。



### ◆人生100年時代の学びプログラム

人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させるという本学創設の教育理念のもと、リタイアした方々を含めて幅広い年齢層の履修者が現役学生と一緒に教室での世代を超えた学習機会を提供するほか、各自の関心のあるテーマについて担当教員やプログラム履修生との対話の場を設けています。

### ◆「ソーシャルビジネス・アントレプレナー育成プログラム」

地域社会の課題解決や新たな魅力を創出するスモールビジネスを受講生が実現することを目標に据えた実践型の起業家育成プログラムです。

### ◆グローバルリテラシー教育プログラム (2024年度新設)

グローバル化が急速に進展する今日、様々な国の人々と文化的多様性を尊重しながら調和・共生していく際に備えておきたい相互理解や価値創造力、社会貢献意識などの素養や思考力を深めることを目指すプログラムです。